

令和4年度 佐賀県高体連
レスリング専門部報告書

R3.11～R4.11

中止大会：ひむか杯・九州新人戦（大分）

本年のレスリング専門部の成績については、団体戦で鳥栖工業高校が高知県で行われた全国高校総体で3位入賞。個人戦においても、鳥栖工業高校の須田宝が全国選抜大会で優勝。全国高校総体・国民体育大会で準優勝。甫木元起も全国選抜大会・全国高校総体・国民体育大会で優勝し、2年生ながら、高校3冠を達成した。また、栃木県で開催された、一期一会とちぎ国体では、少年選手として出場した、甫木元起が優勝。須田宝、松原拓郎が準優勝、怡土悠馬が3位に入賞し、佐賀県勢初の総合2位入賞に大きく貢献した。

選手の育成については、協会、OBが中心となり、小・中のジュニアレスリングの指導と高校のレスリング部の指導が一貫して行われており、小・中学生も全国で入賞するなど大きな成果を上げている。今後も2024年の佐賀国スポを念頭に県レスリング専門部・県レスリング協会と連携・協力し、強化に努めていきたい。

ここでは、令和3年11月から令和4年11月までの各大会における、県内選手の活躍について記す。

また、高体連専門部の役員については、専門部長に鹿島高校校長の江口孝之校長、そして専門委員長は、鹿島高校の中村百次郎が行うこととなった。下記に今年度の高体連の役員を示す。

専門部長	江口 孝之（鹿島高校校長）
専門委員長	中村百次郎（鹿島高校・監督）
専門委員	小柴 健二（鳥栖工業・監督）
専門委員	白濱 隆則（鹿島高校）
専門委員	徳永 智康（鳥栖工業）

令和3年度（2021年度）
佐賀県高等学校レスリング新人選手権大会

日時：R3.10.31
場所：鹿島高校

今年の新人戦は、学校対抗戦では鳥栖工業高校のみの参加、個人対抗戦では鳥栖工業高校、鹿島高校の2校の参加であった。大会結果は、学校対抗戦では鳥栖工業高校が優勝。個人対抗戦では、鳥栖工業高校が8階級にわたって優勝し、盤石の強さを見せる結果となった。鹿島高校も女子62kg級で優勝した。2月に実施される全九州高等学校新人選手権大会に学校対抗戦は1、2位のチーム、個人対抗戦で県5位まで、同校同階級での選手は2名まで参加できる。

<学校対抗戦>
鳥栖工業高校 優勝

男子			
50kg級	第1位	白川剣斗	鳥工
	第2位	増山晴空	鹿高
55kg級	第1位	河野兼多朗	鳥工
60kg級	第1位	須田宝	鳥工
	第2位	宮崎海斗	鹿高

	第3位	松本空	鳥工
65kg級	第1位	内田皇輝	鳥工
	第2位	高尾慎吾	鳥工
71kg級	第1位	中村響希	鳥工
80kg級	第1位	飯塚康太	鳥工
92kg級	第1位	甫木元起	鳥工
125kg級	第1位	大江玲織	鳥工
女子62kg	第1位	大鋸楓華	鹿高

令和3年度
風間杯 全国高等学校レスリング選抜レスリング大会
（第65回風間杯全国高等学校選抜レスリング大会）

日時：R3.3.28～3.29
場所：新潟東総合スポーツセンター

この大会には、佐賀県から学校対抗戦に鳥栖工業高校が、個人対抗戦には鳥栖工業高校から8階級に1名ずつ参加することとなった。学校対抗戦では鳥栖工業高校が2回戦から出場したが、埼玉・花咲徳栄高校と対戦し4-3で惜しくも敗れた。個人戦では須田宝（鳥工）が60kg級で優勝。甫木元起（鳥工）も92kg級で自力を発揮し優勝した。河野兼多朗（鳥工）は準々決勝で敗れ5位だった。

<学校対抗戦>・・・2回戦敗退

<個人対抗戦：入賞者>			
55kg級	第5位	河野兼多朗	鳥工
60kg級	第1位	須田宝	鳥工
92kg級	第1位	飯塚康太	鳥工

令和4年度（第60回）
佐賀県高等学校総合体育大会 レスリング競技大会

日時：R3.5.28
場所：鹿島高校

今回の県高校総体は、学校対抗戦では鳥栖工業高校のみの出場となり、個人対抗戦では鹿島高校、鳥栖工業高校の2校の参加であった。大会結果は、個人対抗戦で、鳥栖工業高校が8階級すべての階級にわたって優勝する結果となった。鹿島高校も女子62kg級で1名優勝した。令和4年6月に実施される全九州高校大会に学校対抗戦は1、2位のチーム、個人対抗戦で県2位まで参加できる。

<学校対抗戦>
優勝・・・鳥栖工業高校

男子			
51kg級	第1位	白川剣斗	鳥工
	第2位	中島拓摩	鳥工

	第3位	福富将大	鳥工
	第4位	宮原拓海	鳥工
	第5位	増山晴空	鹿高
55kg級	第1位	河野兼多朗	鳥工
	第2位	白川剣斗	鳥工
60kg級	第1位	須田宝	鳥工
	第2位	前田太晟	鳥工
	第3位	宮崎海斗	鹿高
65kg級	第1位	松原拓郎	鳥工
	第2位	伊藤海里	鳥工
	第3位	高尾慎吾	鳥工
	第4位	内田皇輝	鳥工
71kg級	第1位	三浦修矢	鳥工
	第2位	中村響希	鳥工
	第3位	吉田樹央	鳥工
80kg級	第1位	飯塚康太	鳥工
	第2位	白川大虎	鳥工
92kg級	第1位	甫木元起	鳥工
120kg級	第1位	大江玲織	鳥工
女子			
62kg級	第1位	大鋸楓華	鹿高

日時：R4.8.1～8.2
場所：高知県
高知県民体育館

この大会は5月に実施された県総体の団体・個人の優勝者が出場できる大会である。学校対抗戦では、全九州高校大会の学校対抗戦で優勝した鳥栖工業高校がシード権を持つての出場となった。準々決勝まで着実に勝利をおさめ、堂々の準決勝進出（ベスト4）となった。準決勝戦の相手は3月に行われた全国選抜大会の優勝校、日本体育大学柏高等学校との対戦となった。ポイントゲッターである60kg・92kg級を中心に、確実に1勝を積み上げていったが、惜しくもチームスコア5-2で敗れ、3位という結果だった。個人対抗戦では、甫木元起（鳥工）が優勝、60kg級の須田宝（鳥工）が2位入賞を果たした。

<学校対抗戦>
3位・・・鳥栖工業高校

男子			
60kg級	第2位	須田宝	鳥工
92kg級	第1位	甫木元起	鳥工

令和4年度 全九州高等学校レスリング競技大会

日時:R4.6.18～19
場所:長崎(島原復興アリーナ)

この大会は、県総体で準優勝までの団体・個人に出場権が与えられる。佐賀県勢は、鳥栖工業が学校対抗戦にて優勝、個人戦についても5階級で優勝し、自力を示した。今大会の優勝・準優勝については、8月に行われる全国高校総体のシード権を獲得することができる。女子については、今大会の各階級3位以内の選手に全国総体の出場権が与えられる。佐賀県からは、鹿島高校から1名の出場となったが、全国大会出場の権利を得ることができなかった。

<学校対抗戦>
優勝・・・鳥栖工業高校

<個人対抗戦>

男子			
51kg級	第3位	怡土悠馬	鳥工
55kg級	第1位	河野兼多朗	鳥工
	第2位	白川剣斗	鳥工
60kg級	第1位	須田宝	鳥工
65kg級	第1位	松原拓郎	鳥工
71kg級	第1位	三浦修矢	鳥工
80kg級	第1位	飯塚康太	鳥工
	第3位	白川大虎	鳥工
女子			
62kg級	第3位	大鋸楓華	鹿高

令和4年度 全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会 三笠宮杯 第69回全国高等学校レスリング選手権大会

日時：R4.11.6

場所：鳥栖レスリングセンター

今年の新人戦は、昨年度同様に学校対抗戦では鳥栖工業高校のみの参加、個人対抗戦では鳥栖工業高校、鹿島高校の2校の参加であった。大会結果は、鳥栖工業高校が団体、そして個人戦も8階級にわたって優勝し、九州新人大会そして、全国選抜大会へ向けて弾みをつけた。鹿島高校も女子62kg級で優勝した。2月に実施される全九州高等学校新人選手権大会に学校対抗戦は1、2位のチーム、個人対抗戦で県5位まで、同校同階級での選手は2名まで参加できる。

<学校対抗戦>

男子			
60kg級	第2位	須田宝	鳥工
92kg級	第1位	甫木元起	鳥工

2022年全国高校生グレコローマン選手権大会

日時：R3.8.17～8.19
場所：大阪・堺市
金岡公園体育館

この大会は、高校生の大会で唯一のグレコローマンスタイルのみの全国大会である。各県から1階級2名ずつ出場することができる。佐賀県では近年フリースタイル同様に、グレコローマンスタイルの強化にも力を入れており、専門の指導者の方に佐賀県へ来てもらい、技や戦い方の指導をしてもらっている。その成果もあって、今大会では51kg級で怡土悠馬（鳥工）が3位、55kg級で河野兼多朗（鳥工）が3位、65kg級で松原拓郎（鳥工）が3位入賞を果たした。

51kg級	第3位	怡土悠馬	鳥工
55kg級	第3位	河野兼多朗	鳥工
65kg級	第3位	松原拓郎	鳥工

令和4年度（2022年度） 佐賀県高等学校レスリング新人選手権大会

日時：R4.11.6
場所：鳥栖レスリングセンター

今年の新人戦は、昨年度同様に学校対抗戦では鳥栖工業高校のみの参加、個人対抗戦では鳥栖工業高校、鹿島高校の2校の参加であった。大会結果は、鳥栖工業高校が団体、そして個人戦も8階級にわたって優勝し、九州新人大会そして、全国選抜大会へ向けて弾みをつけた。鹿島高校も女子62kg級で優勝した。2月に実施される全九州高等学校新人選手権大会に学校対抗戦は1、2位のチーム、個人対抗戦で県5位まで、同校同階級での選手は2名まで参加できる。

<学校対抗戦>

<個人対抗戦>

男 子			
50kg 級	第 1 位	怡土悠馬	鳥工
	第 2 位	宮原拓海	鳥工
55kg 級	第 1 位	河野兼多朗	鳥工
	第 2 位	福富将大	鳥工
	第 3 位	中島拓摩	鳥工
60kg 級	第 1 位	伊藤海里	鳥工
	第 2 位	内田皇輝	鳥工
65kg 級	第 1 位	松原拓郎	鳥工
	第 2 位	高尾慎吾	鳥工
	第 3 位	前田太晟	鳥工
71kg 級	第 1 位	三浦修矢	鳥工
	第 2 位	吉田樹央	鳥工
80kg 級	第 1 位	白川大虎	鳥工
92kg 級	第 1 位	甫木元起	鳥工
125kg 級	第 1 位	大江玲織	鳥工
女子 62kg	第 1 位	大鋸楓華	鹿高

令和 4 年 11 月 7 日

記 専門委員長 中村百次郎（鹿高）